

# 平成25年度 社会福祉法人慈照会事業計画

通所介護事業  
短期入所生活介護事業  
訪問介護事業  
居宅介護支援事業  
介護老人福祉施設事業  
ケアハウス事業

## 平成25年度社会福祉法人慈照会事業計画

### 1. 基本方針

我が国経済は、米国経済の回復、「アベノミクス」と言われる金融政策、景気浮揚策の期待から、円安・株高が進行することにより、欧州債務危機問題や長期化する円高などによる企業業績の下振れ懸念から一転して、景気回復への期待感が膨らんだ状況で推移している。企業業績の好転、消費マインドの改善が期待されているが、国民生活全般に効果が現れるには時間を要する。

当法人の今後に影響のある事象としては、4月からの電気料金の値上、社会福祉法人新会計基準への移行（期限：平成27年度予算）、次年度の消費税アップ（5%→8%→10%）による社会保障と税の一体改革、急速な少子高齢化と介護人材の需要等があげられる。

特に介護人材の需要は、2000年に54.9万人であったが、2010年には133.4万人と10年間で2倍以上に増加し、さらに2025年に237～249万人とさらに100万人以上増加が必要であると試算されている。人材確保と定着は、施設経営にとって最重要課題であり、利用者がいても運営できないと労務倒産する。当法人としては、前年までの取り組みの中で、人材確保と定着については、一定の成果が出てきている。今年度は、エイデル研究所（人事システムコンサルタント）と協働し、職員の人事考課、新給与体系、職員育成システム導入を進め、新たなステップとしたい。

継続して環境の整備を進めるが、壊れたから交換する「事後保全」ではなく、壊れる前に交換する「予防保全」として、計画的に修繕、備品の更新を実施する。ナースコール、車椅子入浴装置の更新を予定している。一方で、節電を含めたコスト削減に全職員で取り組む。

全体の収入目標については、前年の介護報酬改定後の実績を踏まえた目標とし、特に4月から11月の季節的に安定した利用が見込める時期に、確実に収入を確保したい。

現在、生活困窮者や低所得、虐待など様々な社会問題が発生している。われわれの事業は、本来地域の生活課題、福祉課題に率先して取り組み、本当に困っている人を支援する社会福祉事業の充実、発展が目的である。緊急在宅サービス、措置、特例入所に対応しながら、行政との連携に努め、安心して暮らせる地域づくりに貢献したい。

以下を重点目標とする。

#### ※重点目標

##### (1) 職員教育体制の充実とキャリアパスへの取り組み

エイデル式人事考課システムの導入準備、施設内研修の充実、積極的な外部研修への参加、中途採用職員教育体制の整備、資格取得促進

##### (2) 人材確保と働きやすい職場づくりによる職員の定着

新規学卒者の獲得、派遣職員の直接雇用、定期的な職員食事会の実施、月間 MVP 制度の充実、勤務優良・業務積極性評価、職場の効率化、会議の活性化・短時間化、時間管理の徹底、職員モラルの向上

##### (3) 地域交流と貢献

東近江介護サービス事業者協議会・滋賀県介護サービス事業者協議会連合会・滋賀県老人福祉施設協議会活動による地域貢献とネットワーク強化、地域行事への参加と実施

## 2. 事業別重点目標

【通所介護事業】（定員：通常規模型30名、認知症型12名）

75,000,000円（介護職員処遇改善加算含む）を収入目標とする

重点目標：お客様の処遇の把握を行い一人ひとりに合った援助を行う

通所介護計画の周知とそれに基づくサービスの実施、担当制による処遇の見直し・アセスメントの実施を徹底する。認知症対応型のサービスの内容、質の向上を進める。

【短期入所生活介護事業】（定員：16名）

82,000,000円（介護職員処遇改善加算含む）を収入目標とする

重点目標：お客様と寄り添う時間の充実

短期入所介護計画に基づくサービス提供、居室環境の充実により、お客様個々の生活を大切にし、職員、お客様が笑顔で過ごせる関わりのもてる体制にする。

【訪問介護事業】

38,000,000円（介護職員処遇改善加算含む）を収入目標とする

重点目標：在宅サービスを支えるプロのサービスの徹底

多方面の知識と情報、基本介護技術、生活援助者としての倫理観、価値観を向上させ、ニーズの解決に努める。常にお客様の邪魔にならないように、安全を第一に考え毎日が恙なく安心して過ごしていただけるように支援する。

【居宅介護支援事業】

13,200,000円を収入目標とする

重点目標：ケアプランの充実

介護支援のための各サービス事業所間の連携が重要になってきており、その基点となるケアプランの質が介護生活の質に反映される。アセスメントから具体的なプラン作成に至る一連の流れを大事にして質を求めたい。

【介護老人福祉施設事業】（定員：54名）

190,000,000円（介護職員処遇改善加算含む）を収入目標とする

重点目標：ご本人、ご家族との信頼関係の構築を図り、介護力アップに繋げる

担当者としての入居者の把握とコミュニケーションの徹底、定期的な家族との交流により、全体的な介護力をアップさせる。

【ケアハウス事業】（定員：15名）

常に定員が満床になるよう入居者及び待機者の確保を目標とする

重点目標：身体機能維持と認知症予防

重度化予防として、身体機能維持と認知症予防に努めると共に、入居者ニーズへの迅速な対応を心がけ、充実したケアハウス生活が継続できるよう支援する。

### 3. 年間行事予定等

上半期		下半期	
4月	入社式 職員全体会議	10月	入居者健康診断 職員健康診断 第2回総合避難訓練 職員研修会⑤ 食事会 B グループ②
5月	第1回総合避難訓練（消防署立会） 食事会 A グループ① 職員研修会① 理事会・評議員会（事業報告・決算）	11月	職員研修会⑥ 理事・評議員会 （県指導監査報告、補正予算） 食事会 C グループ②
6月	職員研修会② 建部老人会介護教室 食事会 B グループ①	12月	職員研修会⑦ 法人忘年会 第2回夜間想定避難訓練
7月	地域防災会議 第1回夜間想定避難訓練 職員研修会③ 食事会 C グループ①	1月	年賀式
8月	カルナ納涼夏祭り 夏祭りお疲れ様会 県指導監査	2月	職員研修会⑧ 理事会・評議員会（役員改選）
9月	カルナ敬老会 職員研修会④ 建部地区あったかネット訓練 食事会 A グループ②	3月	夜勤者健康診断 理事会・評議員会（事業計画・予算）

※施設内会議

経営会議（月1回） スタッフ会議（週1回）

デイ会議（月1回） ショートステイ会議（月1回） ヘルパー会議（月1回）

居宅介護支援事業所会議（月1回） 特養会議（月1回） ケアハウス会議（月1回）

事務会議（月1回） 給食会議（月1回）

※委員会活動等

研修教育体制プロジェクトチーム、環境整備委員会、事故・苦情防止委員会